

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

8万人が来場！ ハイパージャパンに出展しました

7月14日から16日にかけて、英国最大の日本イベントHYPER JAPANがロンドン市内で開催され、8万人が来場しました。クレアロンドン事務所は、日本政府観光局（JNTO）との合同ブースを設置し、日本各地の魅力の紹介や観光情報の提供を行いました。



来場者からは登山やウインタースポーツ、中山道に関する質問など、訪日旅行に関する具体的な関心が寄せられたほか、2020年の東京オリンピックに合わせて訪日予定の来場者も多かったことが印象的でした。

初開催「WABI : A Taste of Japan」で 兵庫県が酒米・日本酒をPR！

7月7日、8日に日本食・酒・文化イベント「WABI : A Taste of Japan」がロンドン市内で初開催され、兵庫県が、県産の日本酒の飲み比べによる酒米・日本酒のPRを行いました。同県は、「山田錦」をはじめとした酒米の生産量全国1位を誇り、来場者からは「同じお米でも銘柄によって味が全く違う」などの驚きの声が寄せられました。



北京事務所

北京市および重慶市の観光博覧会に出展しました

6月16日から18日まで北京市で行われた「北京国際旅遊博覧会 2017」および23日から25日まで重慶市で行われた「2017 第五回中国西部観光産業博覧会」に、クレア北京事務所が日本の自治体と共同で出展しました。中国の首都である北京市、経済成長著しい内陸部の重慶市と性格の異なる地域で、日本各地の魅力をPRしましたが、いずれの博覧会でも用意したパンフレットが早々に底をつく盛況ぶり、あらためて中国人の訪日旅行への関心の高さを印象づけられました。また、共同で出展した自治体からは「来年も是非参加したい」、「内陸部の訪日旅行に関する状況を知ることができて良かった」といった感想が寄せられました。



シドニー事務所

ニュージーランド地方自治体会議に出展、日本をPR (2017 Local Government New Zealand Conference)

7月23日から25日にかけて、ニュージーランド・オークランド市でニュージーランド地方自治体協会 2017 年年次総会が開催され、全国から首長や議員、自治体関係者、関係機関職員等 600人以上が参加しました。今年は「2050年に向けた『住みよい空間・愛される場所』の創造」に焦点が当てられ、全体会議、各基調講演やワークショップ等が行われました。

クレアシドニー事務所は、事務所の活動や日本の自治体をPRするためブース出展するかたわら、基調講演の聴講やワークショップに参加して各自治体の好事例を学びました。地方自治の専門家などと意見・情報交換できる貴重な機会となりました。



ニューヨーク事務所

全米知事会議開催—滋賀、鳥取県両知事が参加

7月13日から15日まで、ロードアイランド州プロビデンスで夏の全米知事会議が開催されました。海外直接投資・貿易やオバマケアなど米国知事の関心の高いテーマについて議論が行われ、また、カナダのトルドー首相やペンス米副大統領がゲストスピーカーとして登場しました。

今回の会議には、全米知事会からの招へいを受け、日本の全国知事会から三日月大造滋賀県知事と平井伸治鳥取県知事が参加。全米知事会長に就任したサンドバル・ネバダ州知事ら全米知事会役員と会談し、米国知事の訪日や日米知事による会議の開催など両知事会の交流発展に向けて、今後さらに具体的な協議を進めることで一致しました。





シンガポール事務所

インドネシアの自治体職員向けセミナーを開催

7月27日、ジャカルタ市内においてインドネシア国家行政院（NIPA）および総務省との共催で「村落競争力向上のための促進対策」をテーマにしたセミナーを開催しました。日本から東京都墨田区、兵庫県豊岡市、そしてインドネシアの2自治体から合計4人の講師を招へいし、各自治体のベストプラクティスについて講演をしていただきました。

また、講演後、参加者がよりオープンかつフラットに意見交換ができるよう、講演のテーマごとに4つの部屋に分かれて講演テーマに沿った内容で講師と参加者とでグループディスカッションを行いました。参加者は自らの自治体が抱える課題や事例について積極的な意見交換を行い、盛況のうちに幕を閉じました。



ソウル事務所

茨城県の魅力と方言を韓国で紹介！

7月11日、国際交流基金ソウル日本文化センターにおいて、日本語を学んでいる韓国人を対象に、茨城県の魅力と方言についてクリアソウル事務所職員が講演しました。

茨城県の代表的な観光地である偕楽園や袋田の滝、国営ひたち海浜公園や豊富な農林水産物を紹介するとともに、実演を交えて茨城県の方言を紹介しました。

講演中、茨城弁の実演を真似て実際に声に出して練習する方も多かったほか、講演後には、霞ヶ浦の観光帆船引き船に関する質問や、隣接する栃木県の方言との類似性についても言及があるなど、興味深く聞いていただきました。



パリ事務所

ユネスコ認定の創造都市がフランスに集結！

6月30日から7月2日まで、パリ近郊のアンギャン＝レ＝バン市でユネスコ創造都市ネットワーク年次総会が開催されました。持続可能な開発目標（SDGs）にも掲げられた「文化」を通じた都市間の連携によって地域発展を推進する同ネットワークには現在116都市が加盟しており、総会には44カ国から96都市の代表者が出席しました。日本からは札幌市（メディアアート）、名古屋市（デザイン）、浜松市（音楽）、神戸市（デザイン）、金沢市（工芸）、山形県鶴岡市（食文化）、兵庫県篠山市（工芸）が出席し、世界の都市との交流を深めました。*市名の横の（ ）内は登録分野



JET 事業部

都道府県別サポート研修会に クリアから講師を派遣！

クリアでは、各都道府県で開かれる研修会への講師派遣を行っています。5月から7月にかけて、取りまとめ団体および任用団体のJETプログラム担当者を対象とした都道府県別サポート研修会が行われ、クリア職員が現地に赴きJETプログラム事業の概要や異文化コミュニケーション等について説明しました。

個別の事案に対しての助言もしておりますので、来年度も研修会への講師派遣事業を是非ご活用ください。



多文化共生課

第1回地域国際化協会職員向けの 国内研修を実施しました！

7月10日・11日に「外国人相談窓口のノウハウと相談員のストレスマネジメント」について研修を行いました。今回の研修の講師には、多文化精神医学会理事長の阿部裕先生、兵庫県国際交流協会でもスペイン語の通訳相談員を務められ、社会福祉士でもある村松紀子氏、そして阿部先生が院長としてお勤めの多文化クリニックで心理士としてご活躍されている湯浅紋先生にお越しいただきました。

地域で暮らす外国人住民の相談内容が複雑化している中、相談員自身もたくさん悩むことがあります。そこで、今回は地域国際化協会の体制や相談窓口の設置基準から相談員自身のステレオタイプの勉強まで多岐にわたる内容で実施しました。



市民国際プラザ

第20回自治体とNGO/NPO 連携推進セミナー開催報告

7月21日に第20回自治体とNGO/NPO連携推進セミナー「日本は持続可能な共生社会をつくれるか？～世界に求められる基準『エシカル』とは～2020東京オリンピック・パラリンピックの調達コードからSDGsを具体的に！」を開催しました。当日はとても活発な議論が繰り広げられました。当日のセミナーの様子は、HPにも掲載しておりますので是非ご覧ください。

市民国際プラザHP：<http://www.plaza-clair.jp/>



経済交流課

第3回海外経済セミナーを開催します！

地域の名産品等の海外販路開拓をテーマに、2017年度第3回海外経済セミナーを開催します。

地域の名産品の販路を世界に拡大するために、現在の最新情報や、実際に海外への販路開拓に取り組んでいる民間企業の事例についての情報を提供します。

日時：2017年10月13日（金）13:30～

場所：都道府県会館402会議室（定員80人程度）

※詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.clair.or.jp/j/economy/3/page-1.html>

■お問い合わせ 経済交流課

Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp